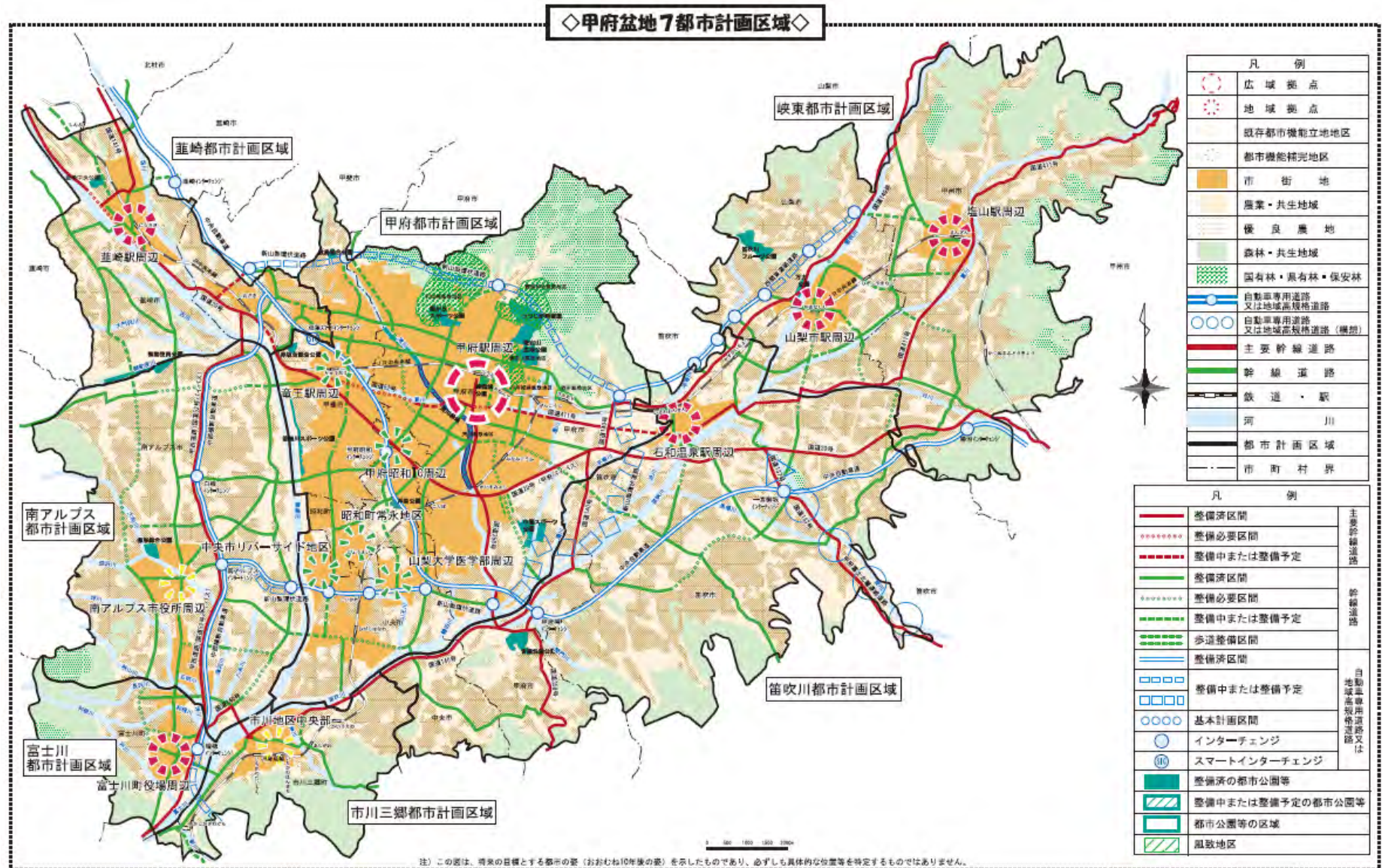


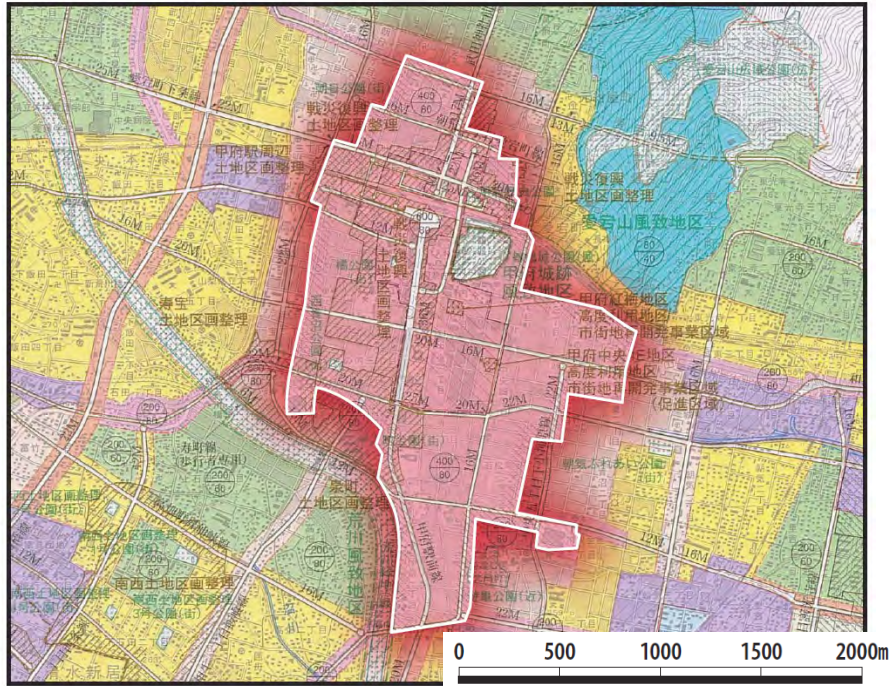
県による広域都市計画MPの例(甲府盆地)



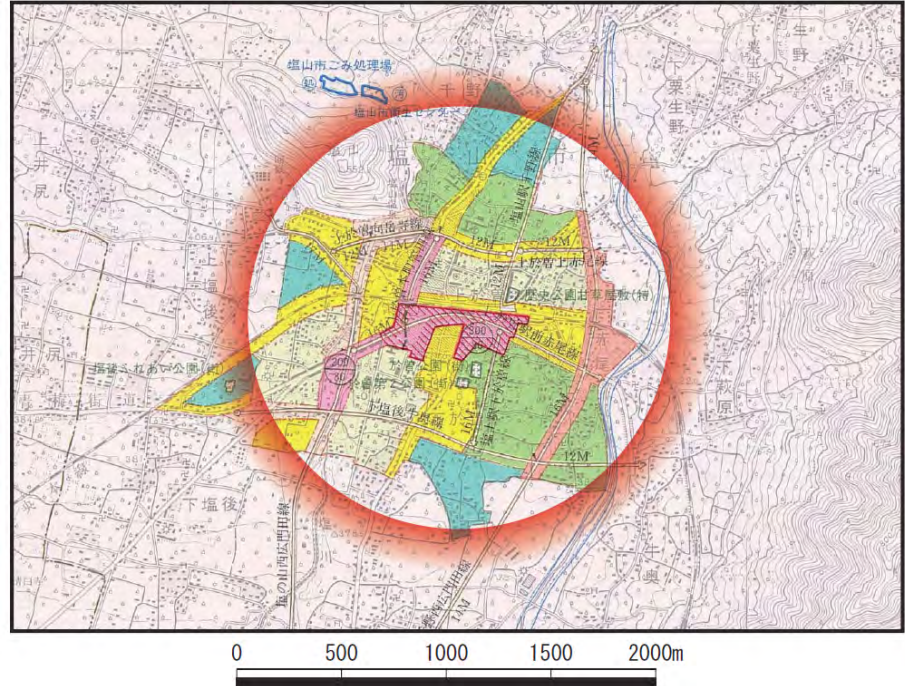
凡 例	
	広域拠点
	地域拠点
	既存都市機能立地地区
	都市機能補完地区
	市街地
	農業・共生地域
	優良農地
	森林・共生地域
	国有林・県有林・保安林
	自動車専用道路 又は地域高規格道路
	自動車専用道路 又は地域高規格道路(横断)
	主要幹線道路
	幹線道路
	鉄道・駅
	河 川
	都市計画区域
	市町村界

凡 例		
	整備済区間	主要幹線道路
	整備必要区間	
	整備中または整備予定	幹線道路
	整備済区間	
	整備必要区間	
	整備中または整備予定	自動車専用道路 又は地域高規格道路 又は
	歩道整備区間	
	整備済区間	
	整備中または整備予定	
	基本計画区間	
	インターチェンジ	
	スマートインターチェンジ	
	整備済の都市公園等	
	整備中または整備予定の都市公園等	
	都市公園等の区域	
	風致地区	

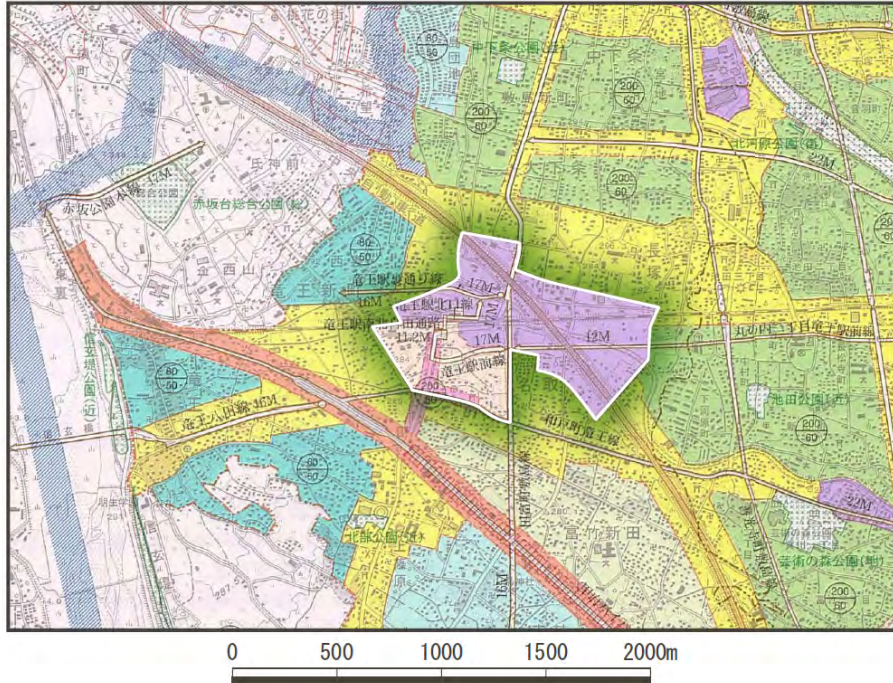
甲府駅周辺（広域拠点）



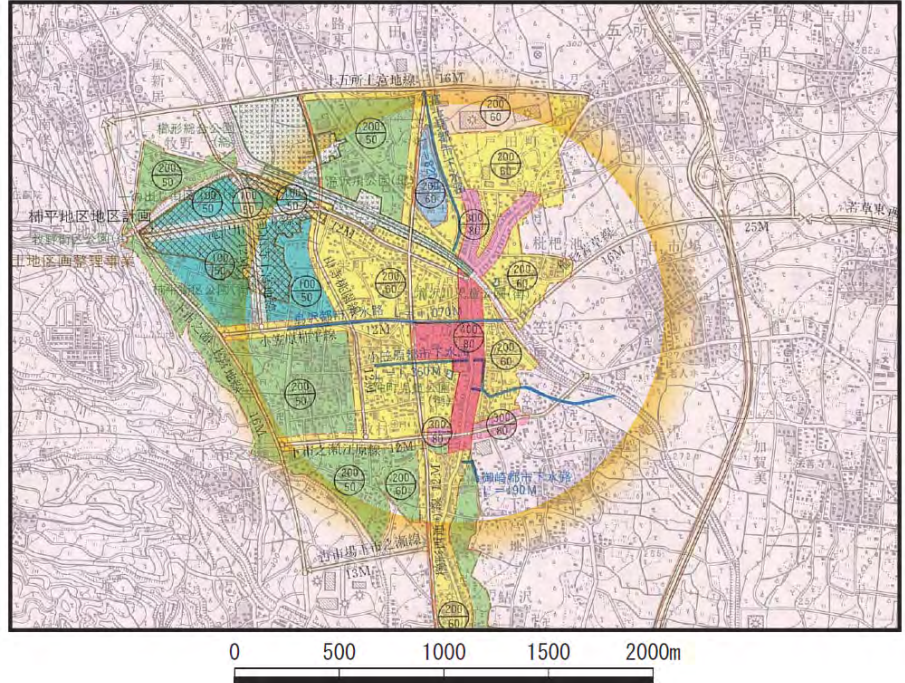
塩山駅周辺（地域拠点）



竜王駅周辺（都市機能補完地区）



南アルプス市役所周辺（既存都市機能立地地区）



広域調整問題が難しい理由

- 個々の市町村の合理的選択の結果が、全体としての都市圏の合理的選択とならない
 - 社会的ジレンマの問題
- 原則としての緩い土地利用規制の状況下（原則自由＋市町村が強化可能）では、何もしないこと（不作為）にインセンティブが作用する
 - 人口増の時代はそれでもよかったが・・・
 - 一部の大規模集客施設については土地利用規制の強化（原則法律で禁止＋市町村が緩和可能）で対応（まちづくり三法の改正）



ご清聴ありがとうございました

@Norihiro Nakai